

ビブリオバトル第4回アンケート

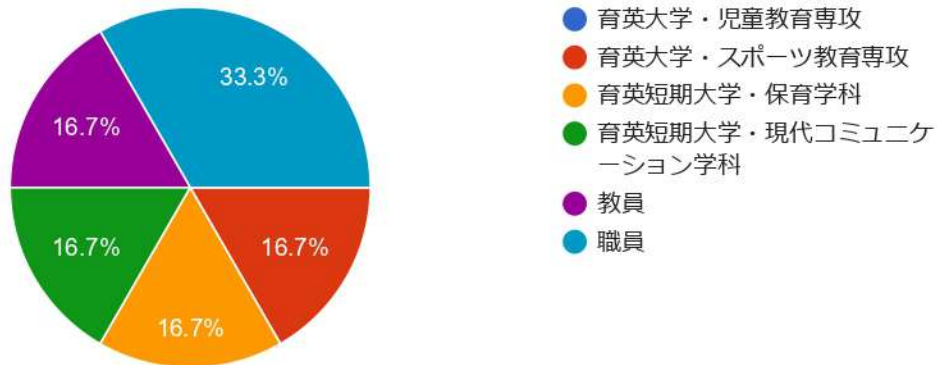
7件の回答

[分析を公開](#)

ご所属を選んでください

 コピー

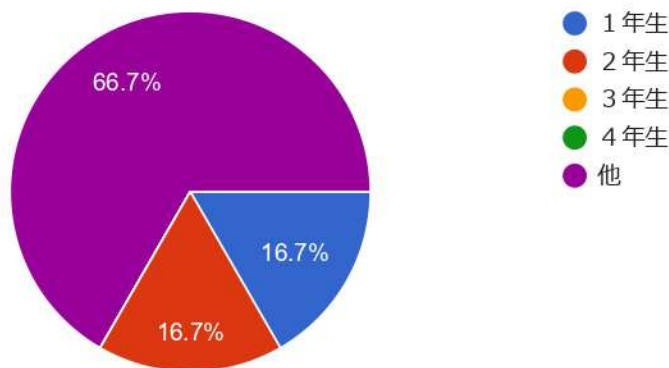
6件の回答



学年を選んでください。教職員の方は、「他」を選んでください。

 コピー

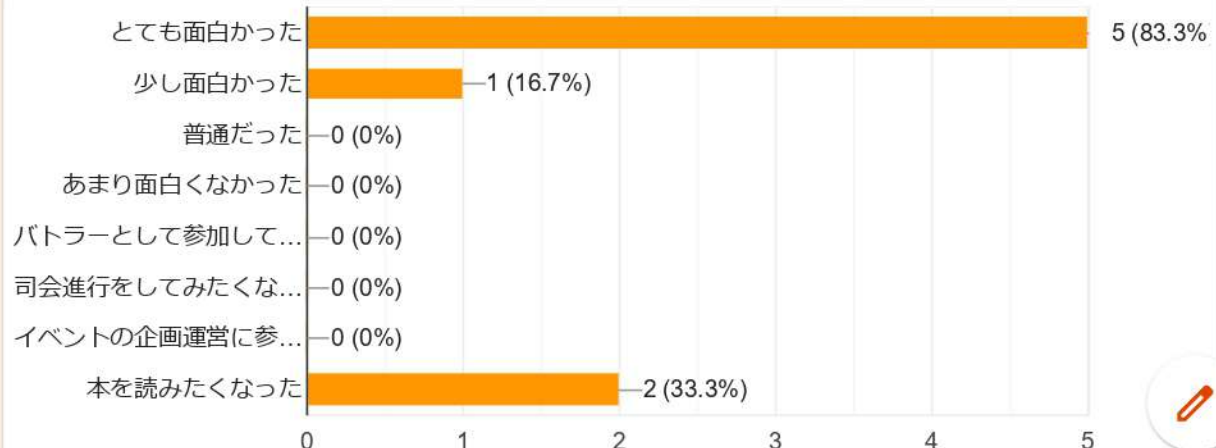
6件の回答



ビブリオバトルをご覧になった印象を選んでください（複数回答可）

 コピー

6件の回答



『正反対な君と僕』 阿賀沢紅茶 作を紹介した 大学・児童4年 Tさんへのメッセージをお書きください。

7件の回答

発表者は二人の主人公のどちらに共感、性格が似ているのか少し気になります！

身近な話から本を紹介するのが1番上手だと思いました。ただ本を紹介するだけでなく、この本からどんな心情の揺らぎがあったのかを紹介から感じることができ、非常に興味を持ちました。

マンガは普段あまり読まないのですが、この作品には興味を持ちました

まんがも十分にバトルの題材にできることを体感できました。

明るくかわいいタッチの表紙からじゃわからない、登場人物の内面を描いた部分が気になります。正反対な二人がどう進んでいくのか、読んでみたくなりました。

正反対な2人の恋愛の機微や葛藤をどんなふうに表示されているのか興味が湧きました。最近恋愛まんがを読んでいなかったのを思い出して、読んでみたくなりました。



『ハマータウンの野郎どもー学校への反抗・労働への順応』 ポール・ウィリス 著
を紹介した 日高先生へのメッセージをお書きください。

7件の回答

耳も潰れていたら表現はできます！

説明へた ※ 発表者本人のコメントです

純粹に面白そう。機会があったら読んでみたいです。

新任の先生という立場から先生のバックグラウンドとも絡めてお話しいただいたので、本の内容もさることながら先生がどんな方かを理解する一助にもなりました。本の内容とバトラーのキャラクターがかみあうとより深い紹介になると思われます。

問題児といわれていた同級生とたまに話がかみ合って、嬉しくなったことを思い出しました。この本を読んで、彼らが何を大事にしていたのか、考えたくになりました。

ヤンキーたちは、低所得の仕事に誇りを持っているとのお話から、格差問題を見つめ直すきっかけになりそうな、読めば世の中の見方が変わりそうな本だなと感じました。ヤンキー特有の言葉遣い「センコー」等の描かれ方も面白そうに興味を湧きました。



『コメントする力』 竹田 圭吾 著を紹介した大佐古先生へのメッセージをお書きください。

7件の回答

私にはボケる力がないので身につけたいです、

ボケからスタートしていることに気づきませんでした笑。3分では収まらない熱量を強く感じました。コメント力はどの場所に行っても求められる能力だと思うので、読んでみたいと思います。

内容が気になるのと、教養が深まりそうです。まさしく今の自分にぴったりといったタイトルですね。

(自分が担当したものなので省略)

人の意見に左右されたり、上手いことを言おうとして言葉がまとまらないことがよくあるため、ぜひ参考にしたい1冊です。

まさかの「ボケ」から入る先生のプレゼン楽しかったです。色々な場面で役立つような本だと感じました。ビブリオバトルをやる人にも役立つ、とお話されていたので、ぜひ読んでみたいと思いました。



『おいしいごはんが食べられますように』 高瀬隼子 著を紹介した 短大・現コミ学科2年 Nさんへのメッセージをお書きください。

6件の回答

僕は美味しいご飯を食べることが大好きなので是非美味しいご飯を食べる楽しさをわかってほしいです！

1番面白い紹介をしていたと感じました。登場人物をこれでもかというほどにクズ呼ばわりしていたのが印象的です。その印象の強さからも、芥川賞受賞作品という肩書きを抜きにしても大変興味がそそられました。

あえて「くず」というネガティブなワードから本に興味を持たせる方向性にオリジナリティが見えました。（ご本人にも口頭で伝えました）

仲良くなれそうにないけど、世渡りが上手いだろうな...という人物像は覚えがありますが、無関係な読者として、楽しめそうです。

登場人物が全員クズという語りはじめの言葉や、出てくる誰とも関わりたくない。という説明を聴いて、現実では耐えられないような状況も、読書でならいくらでも擬似体験できるので、読書の醍醐味を楽しんでいるなあと、聴いていて嬉しくなりました。気になっていて読めていなかった本なので、ぜひ読みたいと思います。



ビブリオバトルをご覧になった感想をお書きください。

5件の回答

初のビブリオバトルを見て、全く本を読んでいないので少し読んでみようかなという気になりました。

皆さんプレゼンが上手かったので、自分ももっと上手になりたいと思いました。

①教員の立場からも、身近な学生から声をかけてみるが大切と思いました。自分もゼミの学生とかに声をかけてみたら、より裾野が広がるきっかけになったかもしれないです。また、現コミがコミュニケーション力を高めるためのコンテストなどの活動を活発化させていることを考えると、現コミをデコにして広げるのもありかもしれません（手作り絵本のコンクールを保育の学生中心に広げたように）。

②より広く存在を学生（学生募集の観点含めて）高校生にも知ってもらうために、大学の公式SNSへの映像の投稿をして、よりバトルのリアルが伝わるようにするのも一考です。

③以前もアイデアとして出したのですが、土壌形成の助けとして、読書部などのサークルをつくるのはどうでしょうか（すでにあるようならすみません）。

紹介された本のジャンルや発表時の切り口がさまざまで、どの本もとても魅力的に感じました。多くの学生が見に来ていたため、今回の発表を受けて、今度は紹介する側として参加してもらえたら嬉しいです。

今回は先生方も参戦してくださって、とっても面白かったです。バトラーの学生も、進行役の学生も、あと観覧に来てくださったゼミ生の皆さんも、皆楽しそうに参加してくれたのが嬉しかったです。少しずつビブリオバトル仲間を増やして継続していけたらうれしいです。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

